

学級活動(1)『話し合い活動』における教師の問い返し

①称賛	②考えの言い換え	③批判的思考	④考えを深める	⑤考えをまとめる
<ul style="list-style-type: none"> ・折り合いをつけることができずすごいいね。 ・授業で学習したことが使われていてすごいいね。 	<ul style="list-style-type: none"> ・あなたが考えたことは、～ということかな？ ・例えば、～かな？ ・～と同じことかな？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇は自分たちで本当にできるかな？ * 具体的な事例や数値等を示すことでより深い考えを生み出すことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・キーワードの〇〇がないけど、何かアイデアはありませんか。 ・国語の〇〇で学習した△△をどうにか使えないかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめると、～いうことだね。 ・つまり、～ということだね。

* 称賛…話し合い活動では、教師は中立の立場にいないといけない。そこで、松ヶ浦小学校が考える話し合いに必要な六つのスキル（聴く力・認める力・工夫する力・協力する力・めあてを守る力・発表する力）や折り合いのつけ方などの学級活動における話し合い活動の資質・能力に関する児童の変容を称賛するようにする。

* 考えの言い換え…自分の考えをうまく説明することが困難であり、他の児童もうまく言い換えることができない場面で使用する。

* 批判的思考…より創造的な話し合い活動にしていくために、具体的な事例・場所・時間・人材・能力等が備わっている意見なのかを問い返すことで、児童は既習の知識を関連付けたり、広げたり、深めたりすると考える。

* 考えを深める…キーワードの活用だけではなく、今までに学習した知識や経験なども活用することができないか問い返す。

* 考えをまとめる…子どもだけでうまくまとめることができない場面で使用する。